

## コース15 かしさん 甲子山

リーダー CL I.M. SL N.M.  
 実施日 令和5年7月3日(月)  
 天候 曇りのち晴れ グレード B  
 参加者 21人(男性8人 女性13人)  
 コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:30	西口乗車2名
道の駅しもごう	8:12	8:23	登山装備、ストレッチ
甲子温泉登山口		8:30	4班体制で出発 人工の渓流が美しい
猿が鼻	10:00	10:10	四十八曲りの登りを上がり稜線で一休み
甲子峠分岐		10:45	山頂直下の急登 滑りやすい岩盤を慎重に上がる
甲子山山頂	11:10	12:10	風・眺望良し 狭い山頂に車座になって昼食
甲子峠分岐	12:35	12:40	ロープや太い鎖につかまり慎重に下山
猿が鼻	13:10	13:20	涼しい木立の下で休憩
甲子温泉登山口	14:35	14:50	
道の駅しもごう	15:10	15:40	大休憩(ご褒美に冷たく甘い味覚を)
秋葉区役所前	18:00		西口2名下車 30分早く到着

### 山行等概要(幹事のコメント)

- 数日前から変わらぬ雨予報に今年も中止か?(昨年中止)と気持ちが沈む日々。ギリギリに好転の兆しがでて決行。当日は朝雨から曇りに変わる予報。山頂の風が少々強いのが気になるが出発。参加者の元気な様子に励まされた。
- 登山道は草刈され、乾いており歩きやすい。終始木立の中、時折吹き抜ける涼風に蒸し暑さもなく快適な山歩きであった。





山頂直下の急登は岩盤もあり濡れて滑りやすい。新しいロープと太い鎖が設置されており助かった。特に下山では、全員ストックを片付けロープや鎖を使い慎重に下りた。

・山頂は、心配した強風もなくむしろ気持ち良い微風。暑さも無し。青空も広がってきて素晴らしい眺望である。ご褒美をいただいた気分。独立峰の狭い山頂で 21 名車座

になってランチタイムを楽しんだ。

- ・この日この山は我々だけ。誰にも会わなかった(猿も熊も…)。那須連峰の北に位置する小さな静かな山。皆さんの足並みも揃って、楽しい山歩きであったと思います。感謝!!



## 甲子山山頂の眺めを求めて

1795 I.H.

まずまずの天気とと思っていたが、当日早朝の新津上空は雲が低く垂れ込めていて今にも落ちてきそうだった。「おはようございます」と集合した面々の表情は明るく元気だ。きっとこのパワーで雲を吹き飛ばすだろう。バスは予定時刻の 5 時半に秋葉区役所前を出発した。西会津PAでの休憩の時は、雲も少し途切れてきて朝日が漏れるようになっていた。

天気が好転していく中で芦ノ牧を過ぎ、予定通りに「道の駅しもごう」に到着。ここで登山の装備をし、みんなで体操をして体をほぐし準備を整えて、登山口のある甲子温泉までもう少しバスに乗る。バスは甲子トンネルを抜けてすぐに国道を曲がり、坂を降りて川沿いの温泉に到着。

ここからが山歩きの始まりで、男性 8 名、女性 13 名の、山行としては珍しく男性比率の多い一行は、大黒屋旅館の前を通り、下方の溪流沿いにある、誰も入っていない露天風呂を見下ろしながら、リーダーを先頭に山頂へと歩みを進めた。



甲子山登山口の看板



四十八曲りの登り

溪流からの淡い硫黄の匂いを感じながら、甲子山登山口の看板を通過し、杉林の中へと登っていく。杉の林もすぐ広葉樹に変わり、ブナの巨木があちこちで道を囲む。登り前半は「四十八曲がり」というつづら折りが続くと、バスの中でリーダーからの案内があったが、確かに曲がっては登り、登っては曲がり、平坦がなく登りが続く。リーダーを先頭に、1 班から 4 班の縦列がくねくねとつづら折りの道を登る。上を行く者から、下を見下ろして後ろの方に声がかかる。「ゆっくり、頑張れ」

小休止を入れながらのリーダーのうまいペース配分で、みな元気に尾根付近の猿が鼻に到着し大休止。いつの間にか木もれ日が差すようになり、吹き抜ける爽やかな風を浴びて疲れ

を吹き飛ばした。ここからあとは緩やかな尾根道が続いて、左右の木立も巨木が消え所々に日が差ししてきた。

ヤマツツジが日を浴びて赤く輝いているのを見つけた。そういえばここまで花を見つけなかった。花のことは全く知らないが、どうやらここは花が少ないのか、終わってしまったのか。時々差し込む日の光を受けながら、涼しい風を体に浴びて、いよいよこの先は急登となるという分岐点まで来た。この先は頂上まで直線的に急な登りで、一部にロープがあるという。みな気合いを入れ直し、急登に挑んだ。根っこにつかまったり、おろし金状の急な岩場を3点支持でゆっくり移動。ロープにつかまる人、鎖をつかむ人、みな慎重に半歩半歩の最後の登りだ。無事通過するとすぐ上が頂上。すごく狭いが360度の眺望が素晴らしい。急登を慎重に登った最後の一人が頂上に到着し全員の拍手で迎えられた。3時間弱の21名の甲子山登りの達成である。



木もれ日の尾根道へ



最後の急登を上がる



風が気持ちいい。頂上すぐ西に旭岳がアップで迫る。その横に那須連山の三本槍岳が座る。ぐるりと山々が見渡せるが、遠くにある薄雲のせい、見慣れない方向からのせい、山の形がこれと確信できなかったけれど案内図によると県内の栗ヶ岳、

会津の磐梯山などのほか、初めて聞く山がぐるりと並んでいる。天気も良く1,549メートルからの眺望を目に焼き付けた。

頂上でお昼を食べ、エネルギー補給。十分に眺望を楽しんだ後は下山となる。直下の急登をロープを使って慎重に下りて、同じ道をゆっくりと、つづら折りも滑らないようゆっくりと下った。途中、足がつったという人も出たが大したことなく、全員無事に登山口まで戻ることができた。甲子温泉で待っていてくれたバスは、一路新津へと走り出した。

高速道路を新津で下りて、走るバスの前方に夕日がまぶしく輝く。好天に恵まれたことへの感謝はもちろんだがそれ以上に、細かい準備と慎重な案内をしていただいたリーダー、サブリーダーに深い感謝の思いが沸く。また楽しく事故なく1日をご一緒していただいた皆さんに、夕日を見ながら感謝した。

皆さんありがとうございました。

1315 S.E.さんの[ブログ「YAMAPウツラ」](#)猿が鼻・甲子山もご覧ください。

